

能代松陽高で創立10周年式典 「伝統と誇り伝えたい」



生徒らが節目を祝った能代松陽高10周年式典

野球選手権大会に統合後初めて出場し、今春の選抜高校野球大会では3回戦まで進んだ。

(佐藤辰)

能代松陽高校(能代市緑町、524人)の創立10周年記念式典が21日、同校で開かれ、生徒や教職員らが新たな伝統を築くことを誓った。

川村寿紀校長は式辞で「グローバルな視野で未来を切り開く力を持つ人間の育成を掲げ、国際交流やキャリア教育に力を入れてきた。生徒には

古里の風土を愛し、歴史や伝統文化を受け継いで後世に伝えることを期待する」と述べた。

生徒を代表し、工藤順恵さん(3年)が「新型コロナウイルス

イルスの感染拡大で活動制限もあったが、先輩から気概を持って困難に立ち向かう姿勢を教わったことが今の生き生きとした学校生活につながっている。私たちが

能代松陽高の伝統や誇りを後輩たちに伝えたい」と話した。

能代松陽高は能代北高と能代商業高が統合し、2013年に開校。普通、国際コミュニケーション、情報ビジネスの3学科を設け、これまでに

2173人が卒業した。昨夏には硬式野球部が全国高校